

平成30年8月7日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国
韮山営農センター

第6回 (8/7号)

水稻病虫害発生予察の結果について

①生育状況

平坦地では、韮山地区の圃場でも幼穂の形成が見られ始めました。昨年よりも少し遅い傾向にあるので、今後の生育に注意して下さい。大仁の神島地区は幼穂がかなり大きくなっていましたので、今週末には出穂が見られると思われます。山間地では、乳熟期に入っていました。生育は例年並みに進んでおります。

②害虫状況

ウンカ類、ヨコバイ類の発生がどの圃場でも増加傾向にあります。協同防除を行わない圃場では、自身の圃場の害虫発生動向に注意し、薬剤防除を検討して下さい。

山間地では、少量ですがカメムシの発生が確認されています。カメムシの吸汁被害が出る時期ですので、自身の圃場を確認し、必要に応じて薬剤散布を検討して下さい。

③その他

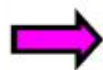
穂肥を行う方は、出穂20日前が施肥時期になります。予察圃場では江間地区や天野、白山堂地区は週末あたりが適期となります。

※ナイスワンパワーを使用の方は、穂肥は必要ありません。

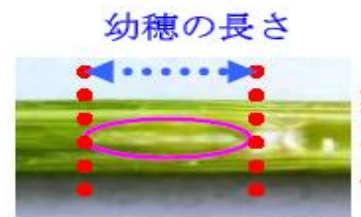
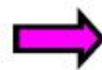
※幼穂の確認方法



稲の茎を2等分に切る



半分に切った茎



白い小さな穂の形をした幼穂ができる

幼穂の発達

出穂前日数	幼穂長
30日	0.2mm
25日	1.5mm
20日	5.0mm
18日	1.0cm
15日	2.5cm
12日	8.0cm

④資材紹介

【殺虫剤】

トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 収穫7日前まで

※ミツバチ等影響があるので、薬剤の飛散に注意。

【穂肥】

NK化成2号 20kg/10a 2回

(出穂の20日前と10日前に10kg/10a ずつ施肥)

I B4号 20kg/10a 1回

(出穂の20日前に20kgを施肥)

問い合わせ：韮山営農センター 西島 055-949-0055